

# ORION

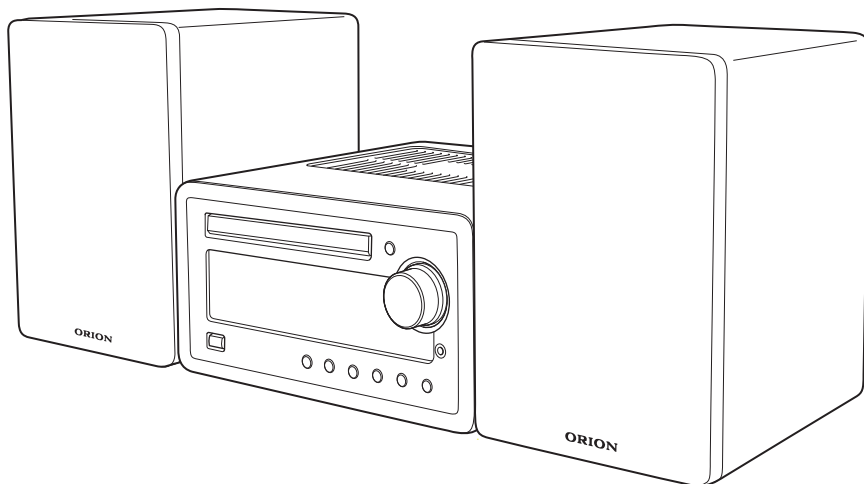
## Bluetooth<sup>®</sup>機能搭載CDステレオシステム SMC-350BT

### 取扱説明書・保証書

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保管してください。



#### も く じ

安全上のご注意	P. 2
ご使用になる前に	P. 4
各部の名称とはたらき	P. 6
使用前の準備	P. 8
正しい使いかた	P. 11
通常の操作	P. 11
CDを聴く	P. 12
USBメモリのMP3 / WMAを聴く	P. 16
Bluetooth <sup>®</sup> 機器を聴く	P. 17
FMラジオを聴く	P. 19
外部入力を聴く	P. 21
便利な使いかた	P. 22
お手入れのしかた	P. 24
修理・サービスを依頼する前に	P. 25
主な仕様	P. 27
アフターサービスについて	裏表紙
保証書	裏表紙





# 安全上のご注意


- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保管してください。

 <b>警告</b>	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 <b>注意</b>	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を示します。)




## 図記号の意味と例

	⊘は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

# 警告

 禁止	交流 100 V 以外では使用しない。 電圧の違うところ、自動車・船舶などの直流電源には接続しないでください。火災・感電の原因になります。	 禁止	本体に強い衝撃を与えたり、落下させたりしない。 衝撃を与えてしまったときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、点検修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因になります。	 指示	電池からもれた液が目に入ったときは、こすらずに水で洗い流し、医師の診察を受ける。 失明や目に障害を負う恐れがあります。		
	海外で使用しない。 本機は日本国内専用です。		ろうそくなど、炎の出るものを近くに置かない。 炎が近づくと、火災の原因になります。		 プラグを抜く	電池ケースがしっかりしまらない場合、製品の使用を中止して子供の手の届かないところに保管する。	
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。		温度の高いところ、水蒸気の多いところ、湿度が高いところ、直射日光が当たるところ、屋外、振動の多いところに設置しない。 火災・感電・故障の原因となります。			使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。	
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。		本機に対してスプレー式のエアダスターを使用しない。 本機の内部にガスがたまると、引火して爆発する原因になります。			お手入れのときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になることがあります。	
	電源コードを、乳幼児の手の届くところに置かない。 コードが誤って首に巻きついたりして事故の原因になります。		 使用禁止			 分解禁止	分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。修理は販売店またはドウシヤカスタマーセンター(裏表紙参照)にご相談ください。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わない。 けが・感電の原因になります。						電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。
	本体のすき間にピンや針金などの金属物など、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。		 指示			 水ぬれ禁止	水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 本機の上に水の入った容器や植木鉢などを置かないでください。 ショート・感電の原因になります。
	雷が鳴り始めたら、電源プラグに触れない。 感電の危険があります。						電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合は拭き取る。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。

# ⚠ 注意

 <b>禁止</b>	<p>次のようなところでは使わない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ガスコンロなど炎の近く</li> <li>●引火性のガスがあるところ</li> <li>●雨や水しぶきがかかるところ</li> <li>●ホコリの多いところ</li> </ul> <p>変色・変形・火災・感電の原因になることがあります。</p>	 <b>禁止</b>	<p>リモコンの電池は直射日光が当たる場所など高温になる場所に置かない。</p> <p>液もれや破裂・火災などの原因となります。</p>	 <b>指示</b>	<p>長時間使用しないときはリモコンの電池を抜く。</p> <p>長時間入れたままにしておくと、液漏れによって内部を汚したり、破裂による火災やけがの原因になります。</p>
	<p>熱のこもりやすい狭い場所、自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない。</p> <p>キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災や感電の原因になります。</p>		<p>真空管に触れない。</p> <p>動作中は真空管および真空管カバーが高温になり、やけどの危険があります。</p>		<p>リモコンを廃棄するときは、電池を抜く。</p> <p>そのまま廃棄すると、思わぬ事故の原因となります。電池は各地方自治体の指示に従って処分してください。</p>
	<p>不安定な場所・傾斜のある場所で使わない。</p> <p>転倒したり落下して、けが・故障の原因になることがあります。</p>		<p>通風孔をふさがない。</p> <p>通風孔（放熱のための穴）をふさがないでください。内部に熱がこもり発火やけが、感電の原因になることがあります。</p>		<p>音量に注意する。</p> <p>使用前には音量を最小にするようにし、使用中も音量を大きくしすぎないように注意してください。長時間、耳を刺激する大きな音量で聴き続けると、聴力に悪い影響を与えます。</p>
	<p>お手入れのときは住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。</p> <p>変色・変形・感電・故障の原因になります。</p>		<p>電池の極性に注意する</p> <p>電池を取り付けるとき、電池の+（プラス）と-（マイナス）に注意し、正しく入れてください。電池の破裂や液もれにより、火災・けが・故障の原因になることがあります。</p>		<p>本機を設置するときは、壁から20cm 以上の間隔をあける。</p> <p>ラックなどに入れるときは、機器の天面から15cm 以上、背面から10cm 以上の間隔をあける。</p> <p>内部に熱がこもり、火災の原因になります。</p>
<p>指定以外の電池を使用しない。</p> <p>電池の破裂や液もれにより、火災・けが・故障の原因になることがあります。</p>	<p>電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜く。</p> <p>感電・ショート・電源コードの断線の原因になることがあります。</p>				

# ご使用になる前に

## CD(MP3/WMA) USBメモリーについて

- USBメモリー**
- ・ファイルシステム FAT32
  - ・USB2.0対応
  - ・本機は、USBマストレージクラスデバイスにのみ対応しています。お使いのUSB機器がUSBマストレージクラスであるかは、直接USB機器の発売元にお問い合わせください。
  - ※本説明書では接続できるUSB機器を「USBメモリー」と記載しています。
  - ・USBハブを介してUSB機器を使うことはできません。
  - ・本機はUSBメモリーに記録されたMP3/WMAファイルを再生することができます。
  - ・機器の状態によっては正常に動作しないことがあります。

- CD**
- ・レッドブック：Audio CDフォーマット
  - ・ISO9660 準拠
  - ・CD-R/CD-RWに対応
  - ・本機は、CD-ROM、CD-RまたはCD-RWに記録されたMP3/WMAファイルを再生することができます。パソコンなどを使ってMP3/WMAのディスクを作成する際は、使用するソフトの説明をよくお読みください。
- 「CDについて」(→5ページ)もお読みください。
- ・マルチセッションには対応していません。最初のセッションのみ再生します。

- MP3**
- ・正式名称をMPEG-1 Audio Layer-3という音声圧縮の規格。
  - ・MP3データの認識はファイル拡張子「.mp3」で行ないます。ファイル名には必ず拡張子「.mp3」を付けてください。拡張子「.mp3」のないファイルは本機では再生できません。また、ファイル名に拡張子「.mp3」を付けていてもMP3データ形式でないファイルは再生できません。

- WMA**
- ・正式名称をWindows Media Audioという音声圧縮の規格。
  - ・WMAデータの認識はファイル拡張子「.wma」で行ないます。ファイル名には必ず拡張子「.wma」を付けてください。拡張子「.wma」のないファイルは本機では再生できません。また、ファイル名に拡張子「.wma」を付けていてもWMAデータ形式でないファイルは再生できません。
  - ・著作権保護されたWMAファイルは再生できません。

- MP3/WMA再生可能ファイル共通事項**
- ・ビットレート 96 ~ 320kbps (推奨)
  - ・サンプリング周波数 32kHz/44.1kHz/48kHz
  - ・999 以上のファイルまたは 99 以上のフォルダーが記録されたディスクまたは USB メモリーは、正常に再生できないことがあります。
  - ・本機は、ビットレート 32kbps ~ 320kbps の MP3/WMA ファイルを再生できます。
  - ・可変ビットレートで記録されたファイルは、正常に再生できないことがあります。
  - ・MP3/WMA データの状態によっては、本機では再生できなかったり、音が途切れることがあります。

## Bluetooth について

### Bluetooth(ブルートゥース)

本機はBluetoothの無線技術・ワイヤレスシステムを搭載しています。対応するプレーヤー、携帯電話などの音楽をワイヤレスで聴くことができます。

### 電波に関する注意事項

- 本機の使用周波数帯では、産業・科学・医療用機器などのほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)などが運用されています。
- ・本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
  - ・万が一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに電波の発射を停止してください。

### 通信について

- ・Bluetooth対応のマウスなどのパソコン関連機器と、ヘッドホンなど音楽機器を同時に使用すると、音が途切れたりすることがあります。
- ・本機などのBluetooth機器は無線LAN機器(IEEE802.11b/g/n)と同じ周波数帯(2.4GHz)を使用するため、近くで使用すると電波障害を互いに発生させて、通信速度低下や接続不能になることがあります。このような場合は、使用周波数を変更するか、できるだけ離して(10m程度)使用します。
- ・本機はすべてのBluetooth機器と接続を保証するものではありません。また接続するまで時間がかかるものがあります。
- ・Bluetooth機器どうしの接続で、対応する規格、周波数帯域、プロファイルの種類などによって接続できないことがあります。

### 安全にご使用いただくために

- Bluetooth機器が発生する電波は、電子医療機器などに影響を与えることがあります。場合によっては事故をひきおこすこともありますので、以下のようなところでは持ち込まない、または電源を入れないようにしてください。
- ・病院など医療機関、電車・航空機
  - ・自動ドアや火災報知機の周辺
  - ・心臓ペースメーカー、医療用電子機器の近く

### Bluetooth機能を搭載したセットを改造して使用したときは電波法に抵触します

本機は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク」が本機の裏面に表示されています。改造すると、技術基準適合証明が無効となります。無効状態で使用すると、電波法に抵触しますので絶対に改造しないようにお願いします。

### Bluetooth機能は日本国内で使用してください

本機のBluetooth機能は、日本国内での無線規格に準拠し認証を取得しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。

BluetoothおよびBluetoothロゴは米国 Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。そのほか商品名/社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。

Bluetooth部 仕様	
適合規格	Bluetooth Ver.5.0
通信出力	Class2
使用周波数帯域	2.4GHz帯 (2.402~2.480GHz)
変調方式	G FSK.
プロファイル	A2DP、AVRCP
対応コーデック	SBC
通信距離*	(見通し) 約10m*
同時接続台数	1台
記憶可能ペアリング台数	1台

\* 通信距離は目安です。周囲の環境により距離が変わることがあります。

お使いのBluetooth機器によっては接続できないことがあります。詳しくはお使いのBluetooth機器の説明書をご確認ください。

## CDについて

**結露について** 寒いところから急に暖かいところに移動させると、レンズに水滴がついたり、曇ったりする結露現象が起こります。  
この状態でご使用になると、正しい動作をしないことがあります。このようなときは、ディスクを取り出して、1時間程度放置してください。

**ディスク使用上の注意**   ディスクに左のマークが入ったものをご使用ください。  
コピーコントロールCD (CCCD) や Dual Disc など、CDの標準規格に準拠していない特殊なディスクは正しく再生できないことがあります。

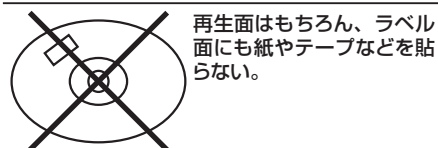
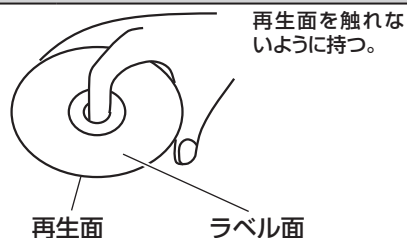


ひびやそりのあるディスクは絶対に使わない。  
再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや割れや変形したディスク、またはテープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですから絶対に使用しないでください。

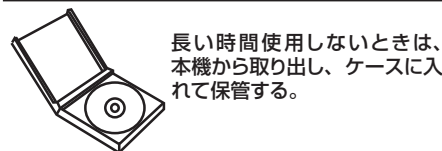
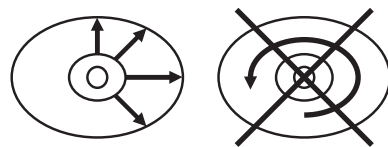


ハート型や八角形などの特殊形状のディスクは使用しない。  
機器の故障の原因となります。

**ディスク取り扱い上の注意**



ディスクに指紋や汚れが付いたときは、柔らかい布などで、放射状に軽く拭き取る。



※クラス1レーザ製品です。

## 乾電池について

- 乾電池を扱うときは
- 指定以外の乾電池は使用しない。
  - 極性表示 (+ -) を間違えないで挿入する。
  - 水や火の中に入れてたり、充電・加熱・分解・ショートしない。
  - 液漏れがおきたら使用しない。
- 乾電池はもちろん、本体も液が付いた状態で使用すると危険なため、直接触れずに拭き取るようにしてください。
- 万が一、液が体に付いてしまった場合は、水で十分に洗い流すようにしてください。
- 長時間使用しないときは、乾電池をはずしておく。
  - 使用後は、必ず各自自治体の指示に従って処分する。

## 真空管について

- 本機は真空管を使用しているため、電源投入後すぐに使用開始できません。
  - 真空管を使用しているため、使いかたによっては（長時間使用継続や大音量使用など）真空管を傷めてしまい、機器としての寿命を縮めることになります。
  - 煩雑な電源の入切、電源コードの抜き差しをしない。
  - 改造などで真空管を交換しないでください。
- 改造をすると、保証サービスを受けられないだけでなく、とても危険であるため、絶対しないでください。

## 使用環境について

**結露について** 寒いところから急に暖かい場所へ移動させると、内部に水滴が付いたりする結露現象が起こります。この状態で使用すると、正しい動作をしないことがあります。このようなときは、電源を入れて1時間程度放置してください。内部の熱で結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。

## NFC（近距離無線通信技術）について

**NFC 接続を利用す** ・本機はNFC送受信部は本体上面にあります。  
**ればかざすだけでワンタッチで接続** ・本機の場合はBluetoothのペアリングと認証をNFCで行ない、簡単にBluetooth通信を開始させることに使います。

## FM補完放送について

**FM補完放送(ワイド FM)** ・AM放送の放送区域において難聴・災害対策のため、FM放送の周波数(従来の76~90MHz、新たに設定された90.1~95MHz)を用いて、AM放送の補完的な放送をしています。  
本機はFM補完放送に対応しています。  
※FM補完放送を実施している放送局、周波数、聴取エリアなどは地域によって異なります。詳しくは各地域の放送局ホームページなどを確認してください。

## 免責事項について

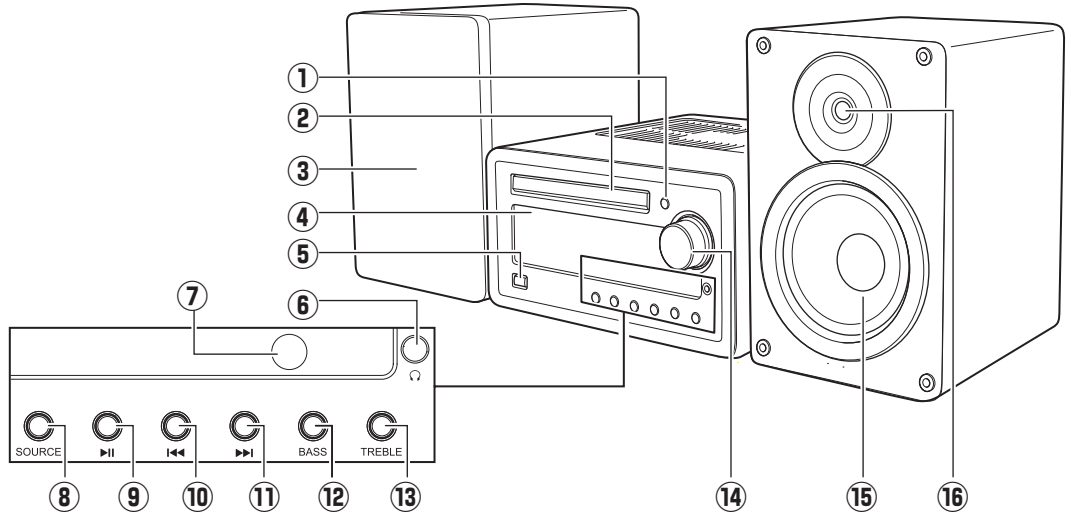
お客様、または第三者が、この製品の誤った取扱・故障・その他の不都合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

製品の故障・誤動作または不都合によるディスクなどへの記録された内容の損害及びお客様または第三者が製品利用の機会をのがしたために発生した損害など、付随的損害の補償については、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

# 各部の名称とはたらき

## 本体

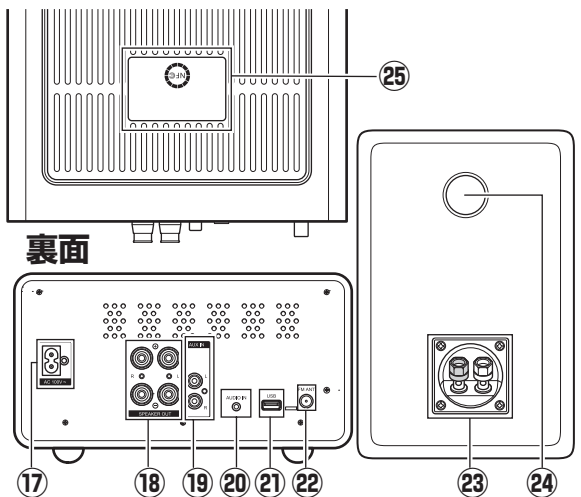
### 前面



名称	機能	名称	機能
<b>前面</b>		<b>裏面</b>	
① CDトレイ開閉ボタン	CDトレイを開閉します	①7 電源入力端子	付属の電源コードを接続します
② CDトレイ	CDを載せます	①8 スピーカー出力端子	付属のスピーカーケーブルを使用してスピーカーに接続します 4mmバナナプラグ対応
③ サランネット	スピーカードライバーを保護します	①9 外部入力端子 (RCA)	アナログ2チャンネルの音声信号を入力します (RCAステレオ)
④ ディスプレイ	各種情報を表示します	①20 外部入力端子 (φ3.5)	3.5mmステレオミニプラグ入力端子
⑤ 電源ボタン	電源を入/切(スタンバイ)します	①21 USB端子	USBメモリーを取り付けます
電源ランプ	電源などの状態を示します	①22 FMアンテナ端子	付属のFMアンテナ線を接続します
⑥ ヘッドホン端子	φ3.5ステレオヘッドホンを接続します	①23 スピーカー入力端子	スピーカーケーブルを接続します バナナプラグ対応:センターキャップを はずして使用してください プラグサイズ:4mmタイプ
⑦ リモコン受光部	リモコンからの信号を受信します	①24 バスレフポート	低音を増強します
⑧ 入力切替ボタン	入力モードを切り替えます	①25 NFC送受信部	BT接続時にNFC対応機器をここに 近づけます
⑨ 再生/一時停止ボタン	再生または一時停止します		
⑩ 逆スキップ/早戻しボタン	前の曲に移動します。再生中は曲の始めに戻ります。再生時に長押しすると早戻しします。FMモード時に短押しで手動選局、長押しで自動選局します		
⑪ 順スキップ+/早送りボタン	次の曲に移動します。再生中は次の曲、最後の曲のときは最初の曲にスキップします。長押しすると早送りします。FMモード時に短押しで手動選局、長押しで自動選局します		
⑫ BASSボタン	低音を調節できます		
⑬ TREBLEボタン	高音を調節できます		
⑭ 音量つまみ	音量を調節します。BASSとTREBLEの調節にも使用します		
⑮ ウーファー※	中、低音域を再生します		
⑯ ツイーター	中、高音域を再生します		

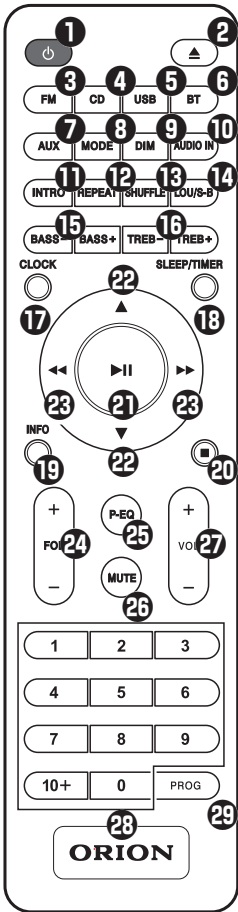
※ コーン紙表面は和紙素材である「みつまた」繊維を使用しています。着色をしていませんので、表面にシミのような模様があることがありますが、みつまたの樹皮や繊維です。  
不良品ではありませんので安心してご使用ください。

### (本体上面)



### 裏面

# リモコン



	名称	機能
<b>リモコン</b>		
1	電源ボタン	電源を入/スタンバイします
2	CDトレイ開閉ボタン	CDトレイを開閉します
3	FMボタン	FMモード (TUNER) に切り替えます
4	CDボタン	CDモード (DISC) に切り替えます
5	USBボタン	USBモードに切り替えます
6	BTボタン	Bluetoothモード (BT) に切り替えます
7	AUXボタン	AUX外部入力モードに切り替えます
8	MODEボタン	FM受信時のステレオ/モノラルを切り替えます
9	DIMボタン	ディスプレイの明るさを変更できます
10	AUDIO INボタン	φ3.5外部入力モードに切り替えます
11	INTROボタン	楽曲のイントロ再生ができます
12	リピートボタン	リピート再生モードの選択をします
13	シャッフルボタン	楽曲をシャッフル再生します
14	LOU/S-Bボタン	ラウドネスモードとS-BASSモードの切り替えをします
15	BASS- BASS+ボタン	低音を調節します
16	TREB- TREB+ボタン	高音を調節します
17	クロックボタン	現在時刻の設定や時刻の表示をします
18	スリープ/タイマーボタン	スリープタイマー設定、オンタイマー設定をします
19	INFOボタン	ディスプレイの情報を切り替えます
20	停止ボタン	曲を停止します
21	再生/一時停止ボタン	曲の再生/一時停止をします
22	スキップ+/-ボタン	1曲先に進めます/1曲前に戻します プリセットされたラジオ局を選局します 時刻設定/タイマー設定時に使用します
23	早戻し/早送りボタン	曲を早送り/早戻しします ラジオの選局に使用します
24	FOL +/-ボタン	MP3/WMAのフォルダーを切り替えます
25	P-EQボタン	プリセットされた音質の変更をします 押すたびFLAT-POP-JAZZ-CLASSIC-ROCK-FLATと切り替わります
26	消音ボタン	消音します もう一度押すと元に戻ります
27	音量ボタン	音量を調節します
28	数字ボタン	曲のダイレクト選曲やラジオのプリセット局のダイレクト選局に使用します
29	プログラムボタン	CD/MP3/WMAのプログラム再生時に使用します ラジオの放送局プリセットに使用します

# 使用前の準備

## 梱包部品一覧

お買い上げ後、同梱の部品を確認してください。

本体.....	1個	スピーカーケーブル.....	2本
スピーカー.....	2個	FMアンテナ.....	1本
リモコン.....	1個	電源コード.....	1本
単4形乾電池(リモコン動作確認用).....	2本	取扱説明書(保証書含む).....	1冊

## スピーカーと電源コードの取り付け

### 1. 付属のスピーカーケーブルを本体裏面のスピーカー出力端子に接続する

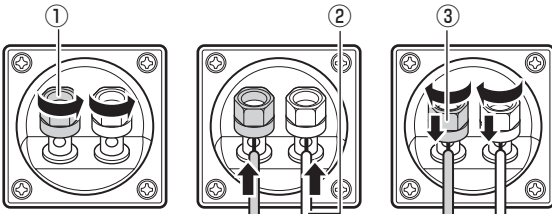
赤色を+、黒色を-にして右・左とも接続してください。

1. スピーカー端子を左に回してゆるめ、スピーカーケーブルの芯線部分(銅線)をスピーカー端子の根本部分の開いた穴に通します。
2. スピーカー端子を右に回して締め、ケーブルの芯線部分がはさまれる(固定される)のを確認してください。

※ケーブルの芯線部分(銅線)が内部の金属部分に触れず、皮膜部分で固定されると、音声信号が流れず、音が鳴りません。

### 2. スピーカー裏面のスピーカー入力端子にスピーカーケーブルを接続する

本体裏面のスピーカー出力端子と同じチャンネル(右・左)であることを確認して接続してください。



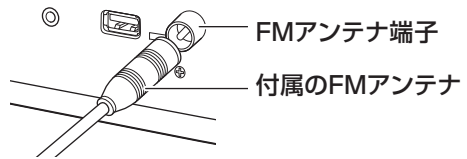
- ①②スピーカー裏面にあるスピーカー入力端子のねじをゆるめて①、スピーカーケーブルの芯線部分(銅線)を穴に通します②。
- ③ そのまま押さえつけるようにスピーカー入力端子のねじを締めてください③。

※軽く引っ張ってみて、はずれないことを確認してください。

※ケーブルの芯線部分(銅線)が内部の金属部分に触れず、皮膜部分で固定されると、音声信号が流れず、音が鳴りません。

### 3. FM アンテナ端子に付属のFM アンテナを取り付け、受信状態が一番良い位置を探して、壁や柱に画びょうなどで貼り付ける

詳細は「FM ラジオを聴く」(→ 19 ページ)

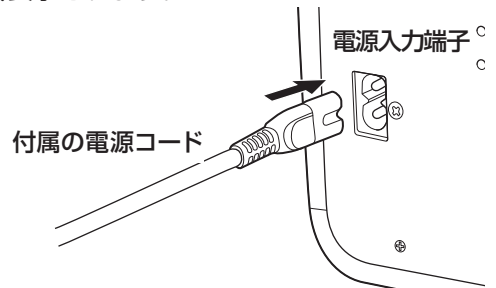


**注意**

FM アンテナは、子供の手の届く範囲に貼り付けない。  
アンテナ線がからみついたりして、事故の原因になります。

### 4. 本体の電源入力端子に付属の電源コードを取り付けて電源プラグをコンセントに差し込む

通電すると、本体のディスプレイに「---:---」が点滅表示されます。



**注意**

- 長時間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く。  
火災、事故などの原因になります。
- ぬれた手で電源プラグを扱わない。  
感電、火災、故障の原因になります。



**注意**

スピーカーケーブルの接続を間違えると故障の原因になります。

#### 付属のスピーカーケーブルの極性について

付属のスピーカーケーブルは赤みかかった(銅色)線を+(赤色の端子)、透明に近い白色(銀色)の線を-(黒色の端子)に接続してください。



## リモコンの準備

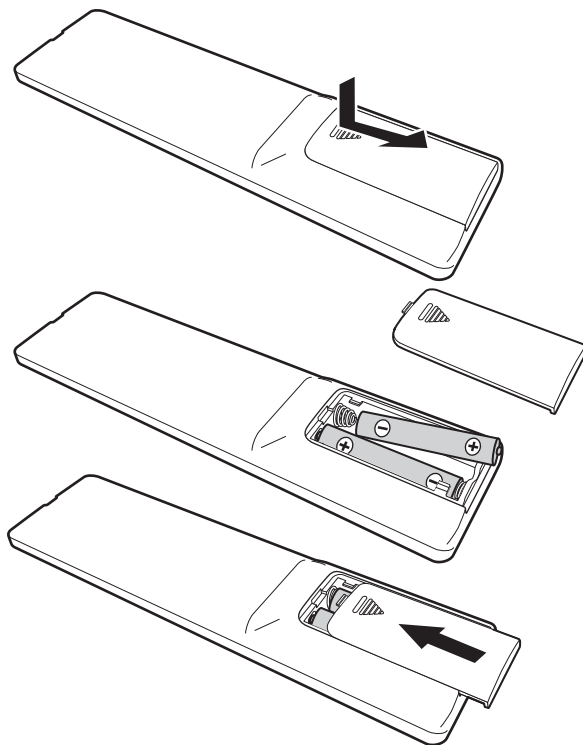
※ 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。

※ ボタンを押しても動作しない、動作が不安定なときには、新しい電池（単4形乾電池）を用意して、以下の方法で電池を交換してください。

## リモコンへの電池の入れかた

1. リモコン裏面の▶▶▶▶マーク部分を押しながらスライドさせて裏フタをははずす
2. 電池の極性（ $\oplus$   $\ominus$ ）に注意して、電池を取り付ける
3. 裏フタを取り付ける

カチッと音がするまでスライドさせてください。



### ⚠注意

- 長時間リモコンを使用しないときは、電池を取りはずす。
- 電池の破裂や液もれを防ぐため、 $\oplus$   $\ominus$  を正しく入れる。
- 電池の充電・ショート・分解・火への投入・加熱などはしない。
- 万一、液もれが起こったときは、よく拭き取ってから新しい電池を入れる。

### リモコン使用可能範囲

リモコンの操作は、リモコン受光部の正面から約6メートル、左右30度、上下20度の範囲でお使いください。

※ 次のようなとき、正しくリモコンが動作しないことがあります。

- リモコンと本機の上に障害物があるとき
- 直射日光や蛍光灯の強い光が受光部に当たっているとき
- 赤外線を出す機器の近くで使用したとき

# 使用前の準備（つづき）

この取扱説明書は、リモコンでの操作方法を中心に説明しています

## 時計を合わせる

電源プラグをコンセントに接続すると、ディスプレイに「--:--」が点滅表示されます。

以下の手順で時計を合わせてください。

### 1. スタンバイ状態でリモコンの クロックボタンを長押しする


ディスプレイに「CLOCK SET」と表示されます。

### 2. リモコンの スキップ+ / - ボタンで12時間（AM / PM）表示または24時間表示を選び、 クロックボタンを押す


12時間（AM / PM）表示 「CLOCK 12」

24時間表示 「CLOCK 24」

### 3. リモコンの スキップ+ / - ボタンで「時」「分」を設定して クロックボタンを押す

・本体の音量つまみ、リモコンの  音量ボタンでも数値の増減をすることができます。

・「時」を設定後、  クロックボタンを押すと「分」を設定することができます。

・「分」を設定後、  クロックボタンを押すと設定時刻が確定し時計機能が開始します。

※ 設定をやめるときは  停止ボタンを押します。

※ 90 秒以上無操作状態がつづくとき時刻の設定がキャンセルされます。

## オートパワーオフ

本機は以下の状態で15分以上操作しないと自動的に電源をスタンバイ状態に切り替えます

・オートパワーオフ機能はCD、USBメモリー、AUX、AUDIO IN 入力使用時、Bluetooth 未接続時のみとなります。


・再生を停止したとき

・再生を一時停止しているとき

※ ラジオ、Bluetooth 接続時については対応していません。

※ 外部入力端子や AUDIO IN 端子にスマートフォンなどの音量調節機能のある機器を接続する場合は接続した機器の音量を半分以上に上げてください。小音量の場合、オートパワーオフが正しく動作しません。

## 時計を確認する

エコパワー・スタンバイ状態ではディスプレイには何も表示されていませんが、リモコンの  クロックボタンを押すことで現在時刻を見ることができます。


### 1. エコパワー・スタンバイ状態でリモコンの クロックボタンを押す

ディスプレイに現在時刻が表示されます。

## ディスプレイの明るさを調節する

ディスプレイが明るすぎるなど、お好みの明るさに表示を変えることができます。

### 1. リモコンの DIM ボタンを押す

 DIM ボタンを押すたびにディスプレイの明るさが変化します。3 段階で明るさを調節できます。



電源プラグをコンセントから抜くと、時間がリセットされます。再度設定が必要になります。

## ふたつのスタンバイ状態

本機にはふたつのスタンバイ状態があります。

### 1. スタンバイ状態で本体またはリモコンの 電源ボタンを長押しする

エコパワー・スタンバイ状態に切り替わります。

・ **エコパワー・スタンバイ状態**

「ECOPOWER」と表示されます。本体前面の電源ランプが赤く点灯します。

・ **通常のスタンバイ状態**

終了時に「BYE BYE」と表示されます。

スタンバイ状態では常に時計を表示します。 10

# 正しい使いかた

## 通常の操作

### 1. リモコンの電源ボタンを押して電源を入れ、真空管の準備ができるまで約25秒待つ

電源が入ると、真空管には赤い光がとまり、ディスプレイではカウントダウンが始まります。カウントダウンが0になると、準備が完了し、まもなく操作ができるようになります。

### 2. リモコンの音量ボタンで音量を調節する

入力モードによって自動的に再生が開始されるため、音量を調節します。

### 3. 消音するときにはリモコンの消音ボタンを押す

リモコンの消音ボタンを押すと音量 0 になります。もう一度押すと元の音量に戻ります。

- 消音中はディスプレイに「MUTING」が点滅表示されます。
- 消音中に本体の音量つまみを回したり、リモコンの音量ボタンを押すと、消音は解除されます。

### 4. リモコンの各入力ボタンでモードを切り替える

- 本体の入力切替ボタンを押すたびに、DISC(CD) → USB → TUNER(FM) → BT(Bluetooth) → AUX → AUDIO IN → DISC(CD)...とモードが切り替わります。
- 接続している機器によって、モードの切り替えに、(音を出すまでに)時間がかかることがあります(USBモードなど)。

### 5. リモコンの各音質調節ボタンを押して好みの音質に調節する

リモコンのP-EQボタン、またはLOU/S-Bボタンで音質を変化させているときは、ディスプレイの右上に「DSC」が点灯します。

#### リモコンのP-EQボタンで好みの音質に切り替える

- お好みの音質でお楽しみいただける、5パターンのイコライザー機能が内蔵されています。
- リモコンのP-EQボタンを押すたびに、フラット(FLAT) → ポップス(POP) → ジャズ(JAZZ) → クラシック(CLASSIC) → ロック(ROCK) → フラット(FLAT) と音質が切り替わります。

#### リモコンのLOU/S-Bボタンで小さい音でも高音・低音を増強した音／低音を増強した音にする

リモコンのLOU/S-Bボタンを押すたびに、S-BASS(S-BASS) → ラウドネス(LOUDNESS) → フラット(FLAT)と音質が切り替わります。

- **S-BASSモード**：「S-BASS」表示  
低音域を増幅します。
- **LOUDNESSモード**：「LOUDNESS」表示  
小音量時に低音域と高音域を増幅します。
- **フラットモード**：「FLAT」表示  
音域の増幅をやめて、各音域フラットな音質に戻ります。

※リモコンのみで操作できます。

※イコライザー機能(P-EQ)と併用できません。

#### リモコンのTREB-/TREB+ボタンで高音(TREBLE)、BASS-/BASS+ボタンで低音(BASS)の音質調節をする

BASS-/BASS+ボタンを押すと「BASS ○○」、TREB-/TREB+ボタンを押すと「TREB ○○」と表示され、+5~-5の範囲で調節できます。

※本体にある、BASSボタンを押すと「BASS ○○」、TREBLEボタンを押すと「TREB ○○」と表示され、これらの表示中に音量つまみを回すことで音質を調節できます。

※イコライザー機能(P-EQ)やLOUDNESS機能、S-BASS機能と併用できません。

### 6. 聴き終わったら、本体またはリモコンの電源ボタンを押してスタンバイ状態にする

- スタンバイ状態ではBluetoothの接続は切断されます。

### 7. 長期間使用しないときは本体の電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグをコンセントに接続したままにすると、実際使用しなくても、少なからず電力は消費されます。

- CD、USBメモリーなど装着したままにしないでください。



警告

使用後は必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。  
火災・故障の原因になります。

# 正しい使いかた（つづき）

## 通常の操作（つづき）

### ヘッドホンを使う

1. 本体の音量つまみ、またはリモコンの 音量ボタンで音量を最小にする
2. 本体前面のヘッドホン端子にヘッドホンを接続する
  - ヘッドホン端子に接続するとスピーカーから音が出なくなります。  
接続したヘッドホンを取りはずすと音が出るようになります。
3. 本体の音量つまみ、またはリモコンの 音量ボタンで適切な音量に調節する



- ヘッドホンを使って大音量で長時間聴くことはしない。  
聴力に悪影響をおよぼすことがあります。
- 3極φ3.5mmステレオミニプラグのヘッドホンを使用する。  
4極以上のミニプラグは正しく使用できないことがあります。

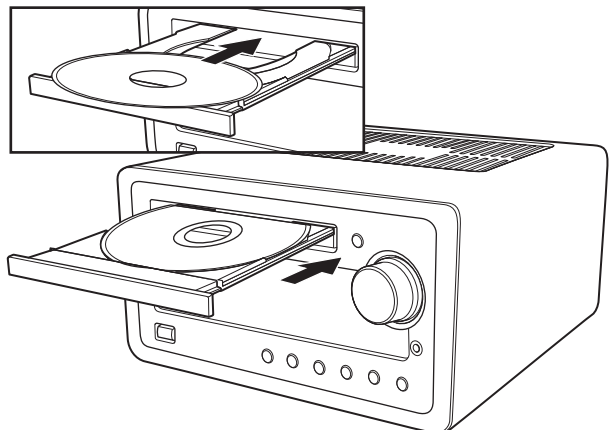
## CD を聴く

### 通常再生をする

1. リモコンの CDボタンでCDモードに切り替える  
ディスプレイに「DISC」が表示されます。
2. リモコンの CDトレイ開閉ボタンを押してCDトレイを開け、CDを載せる  
ラベル面を上にしてトレイに載せてください。
  - CDトレイまたはCDの損傷や故障を避けるために、必ずCDトレイの中央に正しく載せてください。  
8cm CDの場合はトレイ内側の凹みに合わせて載せてください。
  - トレイは開いてから約30秒で自動的に閉まりますので、ご注意ください。※「CDについて」(→5ページ)もご覧ください。
3. リモコンの CDトレイ開閉ボタンを押してCDトレイを閉める  
CDトレイを閉めると「READING」表示が出て、CDの読み込みを始めます。
  - 読み込みできないCDと判断されると、「UNK DISC」が表示されます。



- CDトレイに指やものなどはさまないように注意する。
- CDトレイの開閉は、必ず本体またはリモコンの CDトレイ開閉ボタンで行なう。  
手で押し込むと破損の原因となります。
- 音楽CD、MP3/WMA CD以外入れない。  
データCDやDVDなどを入れると、異音が発生することがあり、スピーカーや耳を痛め、故障の原因になります。




#### 4. 自動で再生が開始されるため、再生する曲を操作する



曲番号 1 から再生が開始されます。

- ディスプレイに曲番号と経過時間が表示されます。



##### 曲を進める スキップ+ボタン

- 再生中に  スキップ+ボタンを 1 回押すごとに次の曲に進みます。
- 最後の曲の次は、最初の曲に戻ります。



##### 曲を早送りする 早送りボタン

- 再生中に  早送りボタンを長押しすると聴いている曲が早送りされます。
-  早送りボタンを離すと通常再生に戻ります。



##### 曲を戻す スキップ-ボタン

- 再生中に  スキップ-ボタンを 1 回押すと曲の最初に戻ります (再生開始直後は除く)。
-  スキップ-ボタンを 1 回押すごとに 1 曲戻ります。



##### 曲を早戻しする 早戻しボタン

- 再生中に  早戻しボタンを長押しすると聴いている曲が早戻しされます。
-  早戻しボタンを離すと通常再生に戻ります。


##### 一時停止する 再生 / 一時停止ボタン

- 再生中に  再生 / 一時停止ボタンを押すと再生が一時停止します。
- もう一度  再生 / 一時停止ボタンを押すと再生が再開します。

##### 停止する 停止ボタン


- 再生中に  停止ボタンを押すと再生が停止します。停止したあとに  再生 / 一時停止ボタンを押すと最初の曲から再生が始まります。

##### 曲を直接選曲する 数字ボタン

-  数字ボタンを押すとその番号の曲 (CD の「トラック」) が再生されます。
- 押した数字の曲が実際には入力することはできません。

※「インデックス (トラックのハイフン以下)」を指定することはできません。

##### 表示を切り替える INFO ボタン

-  INFO ボタンを押すたびにディスプレイの時間表示が、現在再生されている曲の経過時間 → 曲の残り時間 → CD の経過時間 → CD の残り時間 → 曲の経過時間と切り替わります。

## 特殊再生をする

### リピートモード

#### 1 曲繰り返し・全曲繰り返し


本機では繰り返し再生ができます。

- 音楽CD、CDまたはUSBメモリーに記録されたMP3/WMAファイルで使用できます。


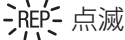
#### 1. 再生中または停止中に、リモコンの

##### リピートボタンを押す

ディスプレイに「REP ONE」が表示されます。

 リピートボタンを押すたびにリピートモードが切り替わります。

#### 2. 繰り返し再生をやめるには、 リピートボタンを何度か押して「REP OFF」表示させる

 リピートボタンを押すたびに	ディスプレイの表示	ディスプレイのアイコン
1 曲繰り返し再生	REP ONE	 点滅
フォルダー繰り返し再生 (MP3/WMA 時のみ)	REP FOL	REP 点灯
全曲繰り返し再生	REP ALL	REP ALL 点灯
繰り返し再生をやめる	REP OFF	(点灯なし)

### イントロモード

曲の冒頭約 10 秒ごとを順に再生し、気に入った曲から再生させるイントロモードが使用できます。


- 音楽CD、CDまたはUSBメモリーに記録されたMP3/WMAファイルで使用できます。

#### 1. 再生中または停止中に、リモコンの

##### INTRO ボタンを押す

ディスプレイに「INT ON」が表示されます。

ディスプレイに INTRO が点灯します。

 INTRO ボタンを押すたびにイントロモードが入切します。

- 最初の曲から曲の冒頭約 10 秒ずつ再生を始めます。
- 最後の曲まで再生すると停止します。

#### 2. 聴いている曲をそのまま聴くときは、

##### INTRO ボタンまたは 再生 / 一時停止ボタンを押す

ディスプレイに「INT OFF」が表示されます。

# 正しい使いかた (つづき)

## CD を聴く (つづき)

### シャッフルモード


曲をランダムに再生させることができます。

- 音楽CD、CDまたはUSBメモリーに記録されたMP3/WMAファイルで使用できます。


#### 1. 再生中または停止中に、リモコンの

 シャッフルボタンを押す

ディスプレイに「SHUF ON」が表示され、SHUFが点灯します。

 シャッフルボタンを押すたびにシャッフルモードが入切します。

同じCD、USB からランダムに再生を始めます。

- シャッフル再生中に、 スキップ+ボタンを押すと、次の曲をランダムに選曲して再生します。

#### 2. シャッフルモードをやめるときは、

 シャッフルボタンを押す

ディスプレイに「SHUF OFF」が表示されます。

※ 現在再生されている曲の次は、通常再生時の次の曲が再生されます。

### PROGRAM(プログラム)機能・曲の順番を決めて聴く

本機では、音楽CD、CDまたはUSBメモリーに記録されたMP3/WMAファイルから、お好みの順番で再生させることができます。

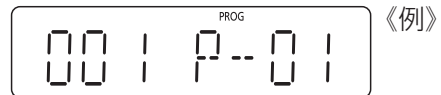
※プログラム：お好みの曲目・曲の順番


#### 1. リモコンの CDボタンでCDモードに切り替える

USBでもプログラム機能を使うことができます。

- CDとUSBの曲を混在させることはできません。

#### 2. 自動で再生が開始されるため、 停止ボタンで再生を停止させ、 プログラムボタンを押す



- 再生中に  プログラムボタンを押すと、「STOP FIR」と表示されます。

#### 3. MP3/WMAファイルのときは FOL +/- ボタンでフォルダーを選択する




#### 4. スキップ+/- ボタンまたは 数字ボタンで再生する曲を選び プログラムボタンを押す

1曲目として登録されます。




#### 5. 順に選曲して プログラムボタンを押すことを繰り返す

 プログラムボタンを押すことで曲が登録されます。


- 最大20曲まで登録することができます。20曲目を登録すると、「PRG FULL」表示が出て、そのままプログラム再生が始まります。
- 途中の曲の変更などすることができません。

## 6. 再生／一時停止ボタンを押す


プログラム再生が始まります。  
プログラム再生中は通常の曲のように早送り・早戻し、次の曲、前の曲、一時停止と自由に操作することができます。



- プログラム再生が終了すると停止状態になります。  
再度プログラム再生するには、停止状態で 再生／一時停止ボタンを押してください。

## 7. リモコンの リPEAT ボタンを押してプログラムの再生モードを選択する

リPEAT ボタンで作成したプログラムを繰り返し再生、もしくは1曲繰り返し再生させることができます。

### プログラムの消去

停止中に再度 停止ボタンを押すと、「PRG CLR」と表示され、プログラムが消去されます。

※ CD(USB)モードから他のモードへの切替、電源ボタンを押す、ディスクの取り出しなどの操作、USBメモリーの取りはずしをしてもプログラムは消去されません。

## CDのMP3/WMAファイルを聴く

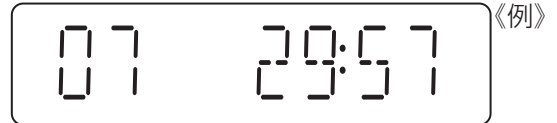
本機では、CDに記録されたMP3/WMAファイルを再生することができます。





音楽CDの再生方法と同じ操作をします。

### 1. 音楽CDの再生と同様に、リモコンの CD ボタンでCDモードに切り替え、CDトレイを開けてCDをCDトレイに載せる

### 2. 自動で再生が開始されるため、再生する曲を操作する

ディスプレイには曲番号と経過時間が表示され、曲が切り替わる時にこれから再生する曲のフォルダー番号と曲番号が表示されます。



- リモコンの FOL +/- ボタンで曲の入っているフォルダーを選択することができます。
- 停止ボタンで再生を停止させると、次に 再生／一時停止ボタンを押したとき、最初の曲から再生が始まります。
- INFO ボタンを押すたびに、MP3/WMAファイルのタグ情報(曲名・アーティスト名・アルバム名)が表示され、切り替わります。(英数字のみ、日本語などは正しく表示されません)。

### MP3/WMA ファイルの再生順番について

- 複数のフォルダーにMP3/WMAファイルを書き込むと、各フォルダーごとにフォルダー番号を付けます。フォルダー番号の若い順に再生します。
- 書き込まれるフォルダーとファイルの順番情報は、書き込みソフトによって異なることがあります。予想した再生順番と異なる順でファイルが再生されることがあります。

※ 「CD(MP3/WMA) USBメモリーについて」(→4ページ)、「CDについて」(→5ページ)もお読みください。



注意

ファイルに適切な拡張子(MP3は[.mp3]、WMAは[.wma])を付ける。拡張子が付いていないと、音楽ファイルを認識しません。また、実際のファイル形式と違う拡張子が付いていると、異音が発生する原因になります。

# 正しい使いかた (つづき)

## USB メモリーの MP3 / WMA を聴く





本機では、USB メモリーに記録された MP3/WMA ファイルを再生することができます。音楽CDの再生方法と同じ操作をします。

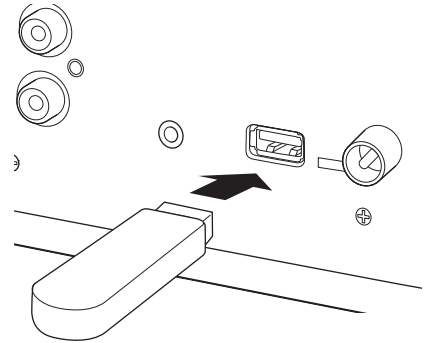
1. USB端子にUSBメモリーを接続する
2. リモコンの  USB ボタンでUSBモードに切り替える

ディスプレイに「USB」が表示されます。

3. 自動で再生が開始されるため、再生する曲を操作する

リモコンの操作ボタンを使用して、CD 同様の操作をすることができます。

- リモコンの  FOLD +/- ボタンで曲の入っているフォルダーを選択することができます。
-  停止ボタンで再生を停止させると、次に  再生 / 一時停止ボタンを押したとき、最初の曲から再生が始まります。総曲数が多いと、曲を探すのに時間がかかるため、慎重に操作してください。
-  INFO ボタンを押すたびに、MP3/WMA ファイルのタグ情報 (曲名・アーティスト名・アルバム名) が表示され、切り替わります (英数字のみ、日本語などは正しく表示されません)。



### 注意

- ファイルに適切な拡張子 (MP3 は [.mp3]、WMA は [.wma]) を付ける。拡張子が付いていないと、音楽ファイルを認識しません。また、実際のファイル形式と違う拡張子が付いていると、異音を発生する原因になります。
- USBメモリーの抜き差しをするときには、(金属にさわるなどして) 体の静電気をなくしておく。  
空気が乾燥して静電気が起こりやすい環境のとき、USBメモリーを扱うと、データを破壊してしまうことがあります。

本機の USB 端子でスマートフォンや携帯電話の充電をすることができます

出力：5V / 1A

充電をする場合は、充電される機器の電圧 / 電流に適しているかご確認の上、ご使用ください。



## Bluetooth® 機器を聴く

### Bluetooth 機器の設定

- Bluetooth デバイスの接続設定をすることを「ペアリング」といいます。
  - ペアリングするときは、両方の機器を 1m 以内に置いてペアリング設定をしてください。
  - 本機は一度に 1 台の Bluetooth 機器しか接続できません。
- 本機は以下の手順で Bluetooth 機器と接続（ペアリング接続）することができます。

### Bluetooth機器との初めての接続

#### 1. ペアリングしたい Bluetooth 機器の電源を入れる

Bluetooth 接続モードにしておきます。

#### 2. リモコンの BT ボタンで BT モードに切り替える

ディスプレイに「BT」が点滅表示されます。



本体前面の電源ランプが青く点滅します。

#### 3. 接続する Bluetooth 機器のサーチ機能进行操作して、本機の製品名「SMC-350BT」を検索する

検索が完了すると、接続する外部機器のディスプレイに「SMC-350BT」が表示されますので、それを選択し「ペアリング」を開始します。

※ ペアリング接続・設定方法は、お使いの Bluetooth 機器の取扱説明書をご覧ください。

※ PINコードが要求された場合は、4桁の数字「0000」を入力してください。

#### 4. 接続が成功すると信号音が鳴り、ディスプレイに「BT」が点灯表示される

本体前面の電源ランプが青く点灯します。

#### 5. 接続がうまくいかないときは、本体またはリモコンの 再生／一時停止ボタン（ペアリングボタン）を長押しする

「BT CLEAR」と表示されます。もう一度最初から接続しなおしてください。



本機はSCMS-Tに対応していません。接続するBluetooth対応機器がSCMS-T対応のときは、ご使用になれないことがあります。詳しくはBluetooth対応機器の取扱説明書をご確認ください。

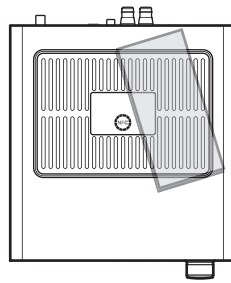
### Bluetooth 機器との 2 回目以降の接続

ペアリングをした Bluetooth 機器は、自動的に接続されます。再接続されないときは、「Bluetooth 機器との初めての接続」の手順に従って再度接続してください。

※ 接続する Bluetooth 機器によっては、自動的に接続されないことがありますが、本機の故障ではありません。

### NFC 機能を使用しての接続

NFC 機能に対応した Bluetooth 機器を本機にかざすだけで簡単にペアリングできます。



本機を BT モードにして、NFC 対応 Bluetooth 機器は NFC モードを「入」にして本体上部にかざす（タッチ・ゆっくり動かすなど）と、ペアリングされます。

# 正しい使いかた（つづき）

## Bluetooth® 機器を聴く（つづき）

### 別のBluetooth機器との接続

別の接続機器を本機に接続したいときは、現在接続されている機器の接続を切断してください。本機は一度に1台の端末しか接続できません。

#### 1. 接続していた外部機器のBluetooth機能をオフにする

・外部機器に表示されている、本機の製品名「SMC-350BT」の登録を解除します。

#### 2. 別の外部機器と「Bluetooth機器との初めての接続」を行なう

17 ページ参照。

#### 3. 接続できないときは、本体またはリモコンの再生／一時停止ボタン(ペアリングボタン)を長押しして、再度「Bluetooth機器との初めての接続」を行なう

※ Bluetooth機能の接続、切断操作につきましては、お手持ちの外部機器の取扱説明書もあわせてご確認ください。

### Bluetooth機器の音楽を聴く

Bluetooth機器の音楽をワイヤレスで楽しむことができます。

#### 1. 「Bluetooth機器との初めての接続」の設定・ペアリングを行なっておく

#### 2. 本機とBluetooth機器が接続していることを確かめる

Bluetooth接続されているときは、ディスプレイに「BT」が点灯表示されます。

未接続のときは「BT」が点滅表示されます。

※ Bluetooth機能の接続、切断操作につきましては、お手持ちの外部機器の取扱説明書もあわせてご確認ください。

#### 3. 本機に接続したBluetooth機器で再生を始める


本機のリモコンまたは本体の操作部でBluetooth機器のコントロールができます。

※ 接続したBluetooth機器の音声出力レベルにも注意してください。出力レベルが小さい場合は正しく再生されないことがあります。

本機のリモコンで操作できるBluetooth機器の機能

 再生／一時停止

 スキップ

 スキップ+

このコントロールする機能は、BluetoothのAVRCPプロファイル対応機器との接続時のみ機能します。



※ お使いのBluetooth機器によっては正しく操作できない場合があります。AVRCPプロファイル対応機種でも、このコントロールに対応しない機器や、対応コントロールであっても、コマンドを送信する方法によって正常に機能しない機器があります。

## FM ラジオを聴く

### FM ラジオを聴く

本機はFMラジオ放送を聴くことができます。76～108MHzの受信ができ、FM補完放送（ワイドFM）に対応しています。受信状態が悪いときは、本体に取り付けたFMアンテナの向きなどを調節してください。



#### 1. 《自動プリセット》リモコンの FM ボタンで FM モードに切り替える

ディスプレイに「TUNER」が表示されます。放送局がプリセットされていないときはディスプレイに「AUTO INSTALL」が表示され、再生／一時停止ボタンを押すと自動プリセットが開始されます。自動プリセットを行なわない場合は停止ボタンを押してください。

※「AUTO INSTALL」表示中に無操作状態が45秒以上続くと通常の受信画面が表示されます。

#### プリセット局の消去

ノイズが多い局がプリセットされたときなど、プリセット局を消去することができます。

- リモコンのスキップ+/-ボタンでプリセット局を選局する。
- リモコンの停止ボタンを長押しすると、ディスプレイに「DELETE」と表示されたあと、プリセット局が消去されます。

#### 2. 《自動プリセット2回目以降》リモコンの プログラムボタンを長押しする

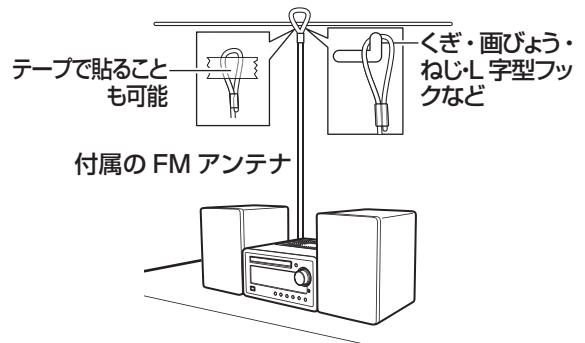
ディスプレイに「AUTO」と表示され、自動プリセットが開始します。



自動プリセットが終了すると、ディスプレイに「COMPLETE」と表示され、プリセット番号01の放送局が選局されます。



《例》



注意

#### FMアンテナ端子についてご注意

- 本機のFMアンテナ端子の形状は「PAL型」です。本機付属アンテナ以外の同軸端子タイプのアンテナやケーブルなどをご使用になるときは、市販の「PAL→同軸RF変換アダプター」をお買い求めください。
- 本機PALアンテナ端子に同軸端子を無理に接続すると、破損しますのでご注意ください。

#### プリセットをするときの注意

- プリセットする前に、窓際などの電波状態の良いところへ移動させてよりよい受信状態で自動プリセットするようにしてください。
- プリセットするのは日曜深夜などは避けるようにします。放送されていない局があり、本来受信できるはずの局を受信できないことがあります。
- 自動プリセット中は、他の操作はできません。自動プリセット終了まで操作するのはお待ちください。

# 正しい使いかた (つづき)

## FM ラジオを聴く (つづき)

3. プリセットされた局を聴くときは、リモコンの  スキップ+ / - ボタンでプリセット局を選局する



4. 自動選局または手動選局で聴きたい放送局を受信する

### 《自動選局》

リモコンの  ボタンまたは  ボタンを長押しする。


- 自動選局が始まったら指を離してください。
- 放送局を受信すると自動的に止まります。


### 《手動選局》

リモコンの  ボタンまたは  ボタンを短く押す。





- ボタンを押すたびに0.1MHzずつ周波数が変わります。

※電波が弱く、自動選局が自動で止まらないときは手動選局を行なってください。

5. 《手動プリセット》プリセットしたい放送局を選局したあと、リモコンの  プログラムボタンを押す

 プログラムボタンを押すと、プリセット可能な、空き番号(プリセット番号)が点滅します。

- 左の2ケタ数字(プリセット番号)点滅中にそのままりモコンの  プログラムボタンを押す

- 表示された空き番号以外にも、 数字ボタンまたは  スキップ+ボタン、 スキップ-ボタンを使って任意のプリセット番号を指定することができます。プリセット番号を指定したら、点滅中にリモコンの  プログラムボタンを押してください。

指定したプリセット番号に放送局が登録されます。

※既に登録されているプリセット番号を指定したときは上書きされて新しく設定した放送局になります。

- プリセットは最大20局まで可能です。

### 周波数の刻み設定

日本のFM放送は0.1MHz(100kHz)刻みで周波数が設定されていますが、近い周波数の局が混信するようなときに、あえて50kHzずらすことによって、聴きやすくなる場合があります。

- FM(TUNER)モードで  再生ボタンを長押しするたびに周波数の刻み設定が切り替わります。

0.1MHz刻み 「GRID100K」…100kHz

0.05MHz刻み 「GRID 50K」…50kHz

- 刻み設定を変更すると、それまで設定していたプリセットなどすべて消去されますのでご注意ください。

### ステレオ・モノラル受信切り替え

FMステレオ放送が聴き取りにくいとき、モノラル受信に切り替えると聴き取りやすくなる場合があります。

1. リモコンの  MODEボタンを押してステレオからモノラルに切り替える

「MONO」と表示したあと、通常が表示に戻ります。

2. リモコンの  MODEボタンを押してモノラルからステレオに切り替える

「STEREO」と表示したあと、通常が表示に戻ります。

## 外部入力を聴く

デジタルオーディオプレーヤーなどの外部機器を外部入力端子に接続し、本機のスピーカーから音声を出すことができます。

本機には本体裏面に2つの外部入力端子があります。

- ・外部入力端子(RCAピンプラグ)
- ・AUDIO IN端子(φ3.5mmステレオミニプラグ)

### 外部入力端子を使う

#### 1. 本体裏面の外部入力端子に外部機器を接続する

- ・接続コードは付属されていません。接続する外部機器に合った市販品をご使用ください。
- ・本機の外部入力端子はRCAピンプラグです。

#### 2. リモコンの AUXボタンでAUXモードに切り替える

ディスプレイに「AUX」が表示されます。

#### 3. 外部機器を再生状態にする

#### 4. リモコンの 音量ボタンで音量を調節する

### AUDIO IN 端子を使う

#### 1. 本体裏面のAUDIO IN端子に外部機器を接続する

- ・接続コードは付属されていません。接続する外部機器に合った市販品をご使用ください。
- ・本機のAUDIO IN端子はφ3.5mmステレオミニプラグです。

#### 2. リモコンの AUDIO INボタンでAUDIO INモードに切り替える

ディスプレイに「AUDIO IN」が表示されます。

#### 3. 外部機器を再生状態にする

#### 4. リモコンの 音量ボタンで音量を調節する

#### 注意

- ・レコードプレーヤーを取り付けるときは、フォノイコライザーアンプ内蔵の機器を接続するか、フォノアンプを介して接続する。


本機はフォノ出力に対応していません。

- ・外部機器の音量を調節できる機種では、適切な音量に設定の上使用する。

他のモードの音とさほど変化のない音量に設定してください。大きく違った音量に設定されていると、モードを変更するたびに音量を設定しなおす必要があります。

#### 注意

機器の接続・取りはずしの際は必ず音量を最小にする。

リモコンの  消音ボタンは使用しないでください。


# 便利な使いかた

本機は、内蔵時計を利用して便利に使うことができます。


## スリープタイマーを使う

設定した時間後に電源を切る（スタンバイ状態）ことができます。

### 1. リモコンの スリープ/タイマーボタンを押してスリープタイマーを設定する


ディスプレイに「SLEEPOFF」が表示され、 スリープ/タイマーボタンを押すたびに「SLEEP」の右側が OFF → 120 → 90 → 60 → 45 → 30 → 15 → OFF（単位は分）と切り替わります。

設定した時間後に電源が切れます。

- スリープタイマーが設定されると、ディスプレイに「Z」スリープマークが点灯します。
- スリープタイマーをキャンセルするときは、 スリープ/タイマーボタンを押して「OFF」に設定します。

## オンタイマーを使う

設定した時間に自動で電源を入れて、設定したモード（TUNER(FM)/DISC(CD)/USB）の音を設定した音量で再生することができます。

- ディスプレイに何も表示されていないエコパワースタンバイ状態のままではオンタイマーは設定できません。リモコンの  クロックボタンを押して、ディスプレイに時計表示をさせて、オンタイマー設定をしてください。

### オンタイマーを使う前に…

- 時計を合わせてください（→10ページ）。
- 再生する音源（FM ラジオ、CD、USB メモリー）を準備してください。

### 1. スタンバイ状態でリモコンの スリープ/タイマーボタンを長押ししてオンタイマーを設定する

「TIMER SET」と表示されます。

### 2. リモコンの各入力ボタン（ FM、 CD、 USB）で、再生するモードを選び スリープ/タイマーボタンを押す

BT、AUX、AUDIO IN は設定できません。

TUNER (FM) に設定したとき

- 最後に選局した FM 局の音声が流れます。

DISC (CD) に設定したとき





- CD トレイに入れているディスクの最初の曲から再生されます。MP3/WMA が記録された CD でも同様で、最初に再生される曲から再生されます。

USB に設定したとき



- CD 同様、USB メモリーを接続して最初に再生される曲から再生されます。


※DISC(CD)またはUSBに設定したとき、ディスクやUSBメモリーが再生できない場合はFMの音声が流れます。

### 3. リモコンの スキップ+/- ボタンでオンタイマーの「時」「分」を設定して、 スリープ/タイマーボタンを押す

- リモコンの  音量ボタンでも数値の増減をすることができます。
  - 「時」を設定後、 スリープ/タイマーボタンを押すと「分」を設定することができます。
  - 「分」を設定後、 スリープ/タイマーボタンを押すと「音量」を設定することができます。
- ※設定をやめるときは  停止ボタンを押す、または90秒以上そのままにしておきます。

### 4. リモコンの スキップ+/- ボタンで再生したい音量を設定して スリープ/タイマーボタンを押す


- リモコンの  音量ボタンでも数値の増減をすることができます。
  - オンタイマーが実行されたとき、音量は設定した音量まで徐々に大きくなります。
-  スリープ/タイマーボタンを押して、ディスプレイに現在時刻が表示されたら、設定完了です。



- タイマーが設定されると、ディスプレイに  時計マークが点灯し、電源ランプが点滅します。

※オンタイマーを設定すると、毎日同じ内容で動作します。

## オンタイマーの入切

### 1. スタンバイ状態でリモコンの スリープ / タイマーボタンを押す

 スリープ / タイマーボタンを押すたびにオンタイマーが入切します。

- オンタイマー設定時はディスプレイに「」時計マークが点灯し、電源ランプが点滅します。オフにすると「」時計マークが消灯します。
- タイマー設定をリセットしたい場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。その際は、現在時刻はリセットされます。



**注意**

- オンタイマーの音量調節は慎重に行なう。
- 設定する再生するモードに気をつける。

# お手入れのしかた



お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。  
感電・火災・けがの原因になります。



- ベンジン・シンナーでは拭かない。  
変色や変形の原因になります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従って使用する。  
変色・キズの原因になります。
- 本体に水をかけたりしない  
感電・故障の原因になります。

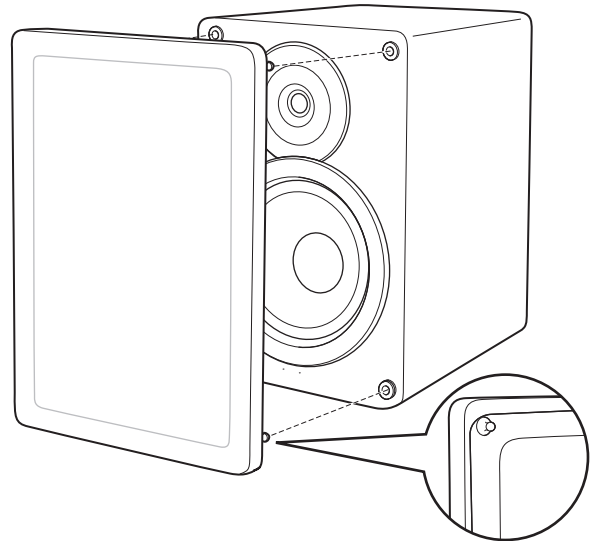
## 本体のお手入れ

本体の汚れは、ぬるま湯か台所用洗剤に浸してかたくしぼった柔らかい布で拭き取り、さらに乾いた布でやさしくから拭きをしてください。(樹脂部分は強くこすらないでください。キズつきの原因となることがあります。)

## スピーカーのお手入れ

スピーカーの汚れは、カメラのレンズ清掃用のブロワーブラシなどを使い、軽くブラシ部分でホコリをはらってください。

※ 本機のスピーカーの前面（サランネット）は、取りはずすことができます。取りはずすときは、ゆっくり取りはずしてください。






# 修理・サービスを依頼する前に

**⚠警告** 修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。

「故障かな？」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
<b>共通部</b>		
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源コードがはずれている</li> </ul>	電源コードを本体の電源入力端子に、電源プラグをコンセントにきちんと接続する
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>消音状態になっている</li> <li>入力切替が目的のモードに設定されていない</li> <li>スピーカーケーブルが正しく接続されていない</li> <li>ヘッドホン端子にヘッドホンが接続されている</li> </ul>	<p>リモコンの  消音ボタンで消音を解除する</p> <p>本体の入力切替ボタンまたはリモコンボタンで目的のモードに切り替える（「AUX」「AUDIO IN」の違いに注意する）</p> <p>正しく接続する（スピーカーケーブルの芯線（導線）部分と被膜部分に注意する）</p> <p>ヘッドホンを取りはずす</p>
ヘッドホン端子にヘッドホンを接続しても正しく聴こえない	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヘッドホンのミニプラグが奥まで差し込まれていない</li> <li>4極以上のミニプラグのヘッドホンを使用している（4極以上のミニプラグは正しく使用できないことがあります）</li> </ul>	<p>ミニプラグを奥まできちんと差し込む</p> <p>3極のステレオミニプラグヘッドホンを使用してみる、または変換プラグなど使用してみる</p>
雑音が入る	<ul style="list-style-type: none"> <li>近くで電波など発する機器（携帯電話など）を使用している</li> </ul>	電波など発する機器から離す、もしくは電波など発する機器を離す
電源が突然切れる	<ul style="list-style-type: none"> <li>オートパワーオフ機能</li> </ul>	本機では停止状態または一時停止状態で15分以上操作しないと電源が自動でオフになります（→ 10 ページ）
正常な動作をしない		一度電源プラグを抜いて接続しなおす
リモコンで操作できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>電池が消耗している</li> <li>操作する距離が遠い</li> </ul>	<p>新しい電池に交換する</p> <p>リモコン使用可能範囲はリモコン受光部から約 6m です</p>
<b>CD 部</b>		
再生が始まらない	<ul style="list-style-type: none"> <li>CD トレイが閉じられていない</li> <li>CD が裏返しに載せられている</li> <li>CD の汚れがひどい</li> <li>CD-R/RW がファイナライズされていない</li> <li>CD が著作権保護技術でエンコードされている</li> <li>結露状態になっている</li> </ul>	<p>CD トレイを閉じる</p> <p>CD のラベル面を上にして載せる</p> <p>クリーニングをする</p> <p>ファイナライズされた CD を使用する<sup>*1</sup></p> <p>ディスクによっては再生できない</p> <p>露のつかない場所に移動し、結露を乾燥させる</p>
音がとぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>振動がある</li> <li>CD に大きなキズがある</li> </ul>	<p>振動のない場所に置く</p> <p>CD を修復する</p>
MP3/WMAを読み取らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>フォーマットが違う</li> <li>書き込んだセッションが違う</li> <li>拡張子「.mp3」「.wma」が付いていない</li> </ul>	<p>ISO9660でフォーマットして書き込む</p> <p>MP3/WMAのCDは1度にすべてを書き込む（マルチセッションに対応しません）</p> <p>拡張子「.mp3」「.wma」を付ける<sup>*2</sup></p>

\*1 ファイナライズの方法については、ご使用の録音機器の取扱説明書をご覧ください（本機ではファイナライズできません）。

\*2 音楽ファイルを認識しなかったときは、「NO SONG」と表示されます。

# 修理・サービスを依頼する前に（つづき）

症状	主な原因	処置
曲が繰り返し再生される	・リピートモードがオンになっている	リピートモードをオフにする
曲の最初だけ再生されて次の曲に移る	・イントロモードがオンになっている	イントロモードをオフにする
曲が収録されている順番通りに再生されない	・プログラムが設定されている	プログラムを消去する
	・シャッフルモードがオンになっている	シャッフルモードをオフにする
<b>USB 部</b>		
USBメモリーを認識しない	・USBメモリーがFAT32以外のファイルシステムでフォーマットされている	USBメモリーをFAT32でフォーマットしなおす
	・USBハブなど介して接続している	本体に直接接続する
	・HDDを接続している	USBメモリーを使用してください
曲が繰り返し再生される	・リピートモードがオンになっている	リピートモードをオフにする
曲の最初だけ再生されて次の曲に移る	・イントロモードがオンになっている	イントロモードをオフにする
曲が収録されている順番通りに再生されない	・プログラムが設定されている	プログラムを消去する
	・シャッフルモードがオンになっている	シャッフルモードをオフにする
<b>FM ラジオ部</b>		
雑音が入る	・テレビなどが近くにある	テレビなどから離す
	・電波状態が悪い	窓際などで試してみる
	・アンテナが正しく接続されていない	正しく接続する
<b>外部入力部</b>		
音が小さい	・レコードプレーヤーをつなげている（フォノアンプなし製品）	フォノアンプを介して接続する
	・接続している機器の音量が小さい	接続している機器の音量を上げる
<b>Bluetooth 部</b>		
音が出ない	・Bluetooth 機器との距離が遠い	Bluetooth機器と本機を10m以内に近づける
	・無線 LAN や電子レンジ、無線機器などの影響を受けている	影響しそうな機器の使用をやめてみる
	・正しくペアリングされていない	もう一度ペアリングしてみる
	・SCMS-T の送信	本機は SCMS-T に対応していません
映像機器とつなぐと、映像より音が遅れる	・Bluetooth の通信遅延	状態によって Bluetooth では若干遅れることがあり、必ず映像と音声を一致させるには外部入力端子に音声を接続する
ペアリングできない	・Bluetooth 機器との距離が遠い	Bluetooth機器と本機を1m以内に近づけてペアリングする
	・Bluetooth 機器側の問題	電源など十分に確保してから試してみる
	・先に別のBluetooth機器が接続されている	別のBluetooth機器が接続されていないか確認する
NFC 接続できない	・Bluetooth 機器の NFC 機能が無効になっている	Bluetooth機器のNFC機能を有効にする

# 主な仕様

## 仕 様

### アンプ部

定格出力 (RMS・THD10%)	35W + 35W
-------------------	-----------

### CD部

再生可能ディスク	CD、CD-R、CD-RW
再生可能フォーマット	CD-DA、MP3、WMA

### USB部

バージョン (端子)	USB2.0 マスストレージクラス (タイプ A)
使用可能容量	32GB 以下
ファイルシステム	FAT32
電源出力	5V / 1.0A
再生可能フォーマット	MP3、WMA (拡張子 .mp3、.MP3、.wma、.WMA)
最大読み込みファイル数	999
最大読み込みフォルダー数	99

### チューナー (FM ラジオ) 部

形式	PLL オートスキャン
受信バンド	FM
FM 受信周波数	76 ~ 108MHz (ステレオ放送対応)・20 局プリセット

### スピーカー部

タイプ	2WAY バスレフタイプ
ドライバー	11cmウーファー、2.5cmドームツイーター
コーン紙	和紙素材 W-RPM (ウーファー部のみ)
インピーダンス	6 Ω
定格入力	35W

### Bluetooth部

バージョン	Ver.5.0
プロファイル	A2DP、AVRCP
コーデック	SBC
SCMS-T	非対応
NFC	対応

### 基本仕様

外部入力端子	2 系統 (RCA ステレオ / 3.5mm ステレオミニプラグ)
出力端子	3.5mm ステレオヘッドホン端子
外形寸法	本体 (突起物除く) (約) W234 × D244 × H132mm スピーカー (1 本) (約) W160 × D202 × H243mm
質量	本体 (約) 2.7kg (本体のみ) / スピーカー (1 本) (約) 2.1 kg
電源	AC100V 50/60 Hz
消費電力	動作時 40W (エコパワー・スタンバイ時 0.5W)

- 仕様などは改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。  
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

## 長年ご使用のCDステレオシステムはよく点検を

### このような症状はありませんか？

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- こげ臭い匂いがする。
- その他の異常・故障がある。

このような症状のときは、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシヤカスタマーセンターに点検をご相談ください。

## 株式会社ドウシシャ

〈東京本社〉〒108-8573 東京都港区高輪2-21-46

〈大阪本社〉〒542-8525 大阪府大阪市中央区東心斎橋1-5-5

■故障・修理についてのご相談に関しては…

⇒ドウシシャ カスタマーセンター

【受付時間】9: 00～ 17: 00(土日祝以外の月～金曜日)

〒915-0801 福井県越前市家久町41-1

**TEL 0778 (24) 2779 FAX 0778 (24) 2799**

※ 製品名、型番をご確認のうえ、お電話をいただきますようお願い致します。

※ FAXもしくは、お電話をいただいた際にお話いただく情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、ご了承ください。